

『米国株の夜カフェ』

LIVEレッスン

月3回、水曜、20:45-21:30

20:40開場
20:45開始

1

ニュース分析

米国経済の動向

2

チャート分析

チャート分析
市場参加者の動向

3

投資戦略

中期的な見通し
売買の仕方

21:10

4

トピックス

世界経済見通し

21:30終了

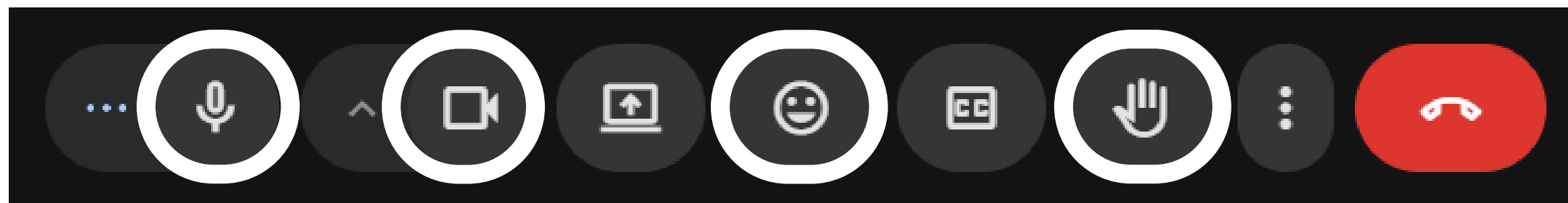
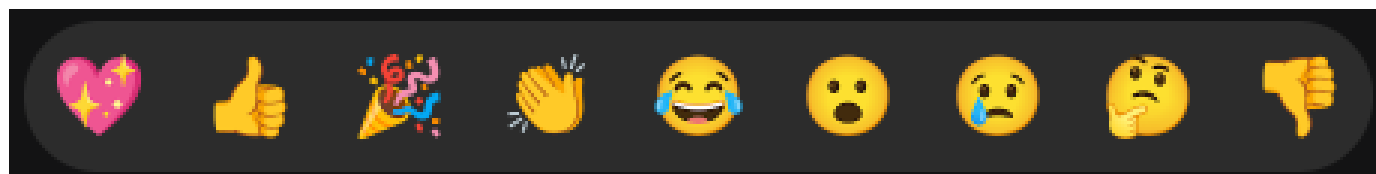
5

トピックス

半導体見通し

Google Meetのボタン

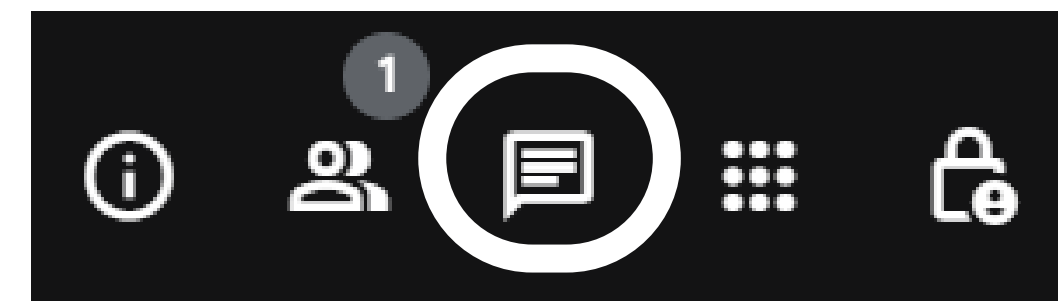
絵文字でリアクションできます



マイクの
オン・オフ

カメラの
オン・オフ

発言したいときに
押してください



チャットで質問する
ことができます

夜カフェの目標

「リスクを極力抑えて、リターンを最大化する」手法を身に付ける

→年利で絶対にマイナスにしない。

→「年利30%」を目指す。

→月2.5%以上のリターン、3ヵ月で7.5%以上のリターンを目指す。

→みらい電卓でシミュレーション

オーナーのトレード

オーナーと一緒にトレードし、『実践の教材』にする

→2026年1月～

→投資予算200万スタート

→楽天証券の特定口座を使用

→LIVEレッスンの時だけ売買（月3回のみ）

1. ファンダメンタルズ分析 米国経済の動向

- ニュースや経済指標をもとに米国市場を分析

①米国の金融政策（FOMCの動き）

重要度50%

②米国の国策(トランプ新政権の動き)

重要度30%

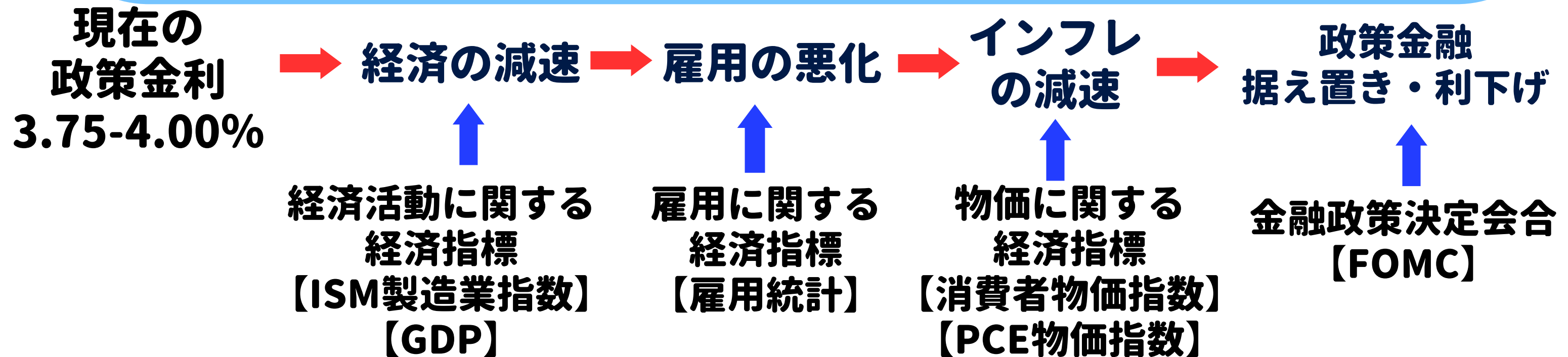
③大企業の決算・重要ニュース

重要度20%



重要度
50%

(1) 米国の金融政策（FOMC）の動向



1. 小売売上高、個人消費の失速鮮明に

→9月の米小売売上高は前月比0.2%増と小幅な増加

→小売の減速は、経済活動の減速であり、利下げの根拠となる

12/10FOMC
利下げ確率
87.6%

2. ベージュブック、経済活動ほぼ変わらず

→経済活動はここ数週間ほとんど変化が見られなかった

サイトを確認

重要度
30%

(2)米国の国策（トランプ政権）の動向

✓ 1. トランプ大統領、習国家主席と電話会談

- トランプ大統領は、米中関係は「極めて強固」とし、来年4月に中国を訪問する招待を受け入れたと明らかにした
- 習主席は会談で台湾の「中国への復帰」が戦後国際秩序の重要な構成部分という中国の立場を明確に表明」

重要度
20%

(3)大企業の決算・NEWS・ヘッジファンドの動向

1. グーグルのAI半導体、メタが数十億ドルで導入検討

→メタは数十億ドルを投じてグーグルのAI半導体を自社のデータセンターで使用する方向で同社と協議を進めている

→グーグルは自社開発の半導体「TPU」を、エヌビディア製半導体よりも安価な代替品として売り込んでいる

2. アップル、世界首位のスマホメーカーに振り返りへ

→アップルは、新型iPhoneの好調な売れ行きと消費者の買い替え需要の高まりを背景に、10年以上ぶりにスマートフォンメーカー世界トップの座を奪還する見通しだ

重要度
20%

(3)大企業の決算・NEWS・ヘッジファンドの動向

📈 3. JPモルガン、米株に強気転換

- JPモルガン・チェースは、米国株に対する慎重な見方を撤回
- S&P500は2026年末までに現行から11%上昇し、7500に達すると見込んでいる
- 堅調な企業収益の伸びやFRBの利下げが追い風になるとしている
- インフレ鈍化でFRBが2回以上金融緩和を実施できれば、8000まで値上がりする可能性

📈 3. ゴールドマン、米株市場の12月見通し小幅上昇

- ゴールドマン・サックスは、株式市場のボラティリティーが落ち着き、トレンド追随型の戦略が買い手に回りつつある中、今後の見通しはより鮮明になってきている
- 過去1カ月でS&P500の売り注文は約160億ドル発生し、これが株価下落の一因
- リスク回避の動きがほぼ吸収され、12月見通しは約7340億円の小幅な純買いに転じた

2. テクニカル分析

- ①チャート分析
- ②市場参加者の動向
- ③Fear & Greed Index



ナスダック総合 週間騰落率

日付 ▼	終値 ▼	始値 ▼	高値 ▼	安値 ▼	出来高 ▼	変化率 % ▼	
2025年11月23日	23,365.69	22,482.16	23,365.79	22,478.27	5.99B	+4.91%	
2025年11月16日	22,273.08	22,788.32	23,147.33	21,898.29	8.34B	-2.74%	最高値から -6.1%下落
2025年11月09日	22,900.59	23,354.85	23,569.62	22,436.79	8.13B	-0.45%	
2025年11月02日	23,004.54	23,951.91	23,976.84	22,563.42	8.74B	-3.04%	
2025年10月26日	最高値 23,724.96	23,537.32	24,019.99	23,493.96	8.39B	+2.24%	6.84%上昇
2025年10月19日	23,204.87	22,844.82	23,261.26	22,514.08	8.34B	+2.31%	
2025年10月12日	22,679.97	22,578.67	22,886.87	22,213.73	8.69B	+2.14%	
	22,204.43	22,894.35	23,119.91	22,193.07	9.49B	-2.53%	
	22,780.51	22,605.30	22,925.43	22,493.96	8.41B	+1.32%	
	22,484.07	22,606.59	22,801.90	22,185.87	8.16B	-0.65%	
2025年9月14日	22,631.48	22,243.20	22,645.11	22,058.92	10.96B	+2.21%	
2025年9月07日	22,141.10	21,806.22	22,182.34	21,731.48	7.54B	+2.03%	

3週連続で大きく上昇した次の週は下落しやすいので、一部利確する。
ヘッジファンドは1カ月以内に買いと利益確定を繰り返す。

【チャート分析】 ナスダック総合 週足

基本は週足で見るが、行動が遅くなるので、実際行動するときは日足でも判断

【売るタイミング】

- 週足でRSIが50を割ったらすぐに逃げる
- 割りそうになったら日足で判断。
- 週足でMACDが下落している途中は買ってはいけない

【中長期投資家の買いタイミング】

- 1年平均線を回復し
- RSIが50を回復し
- MACDがクロスして上昇

この3つの条件がそろふこと



中長期：【分岐点】

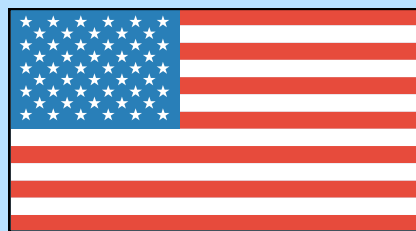
チャートを確認

【RSI】
50以上で
あること

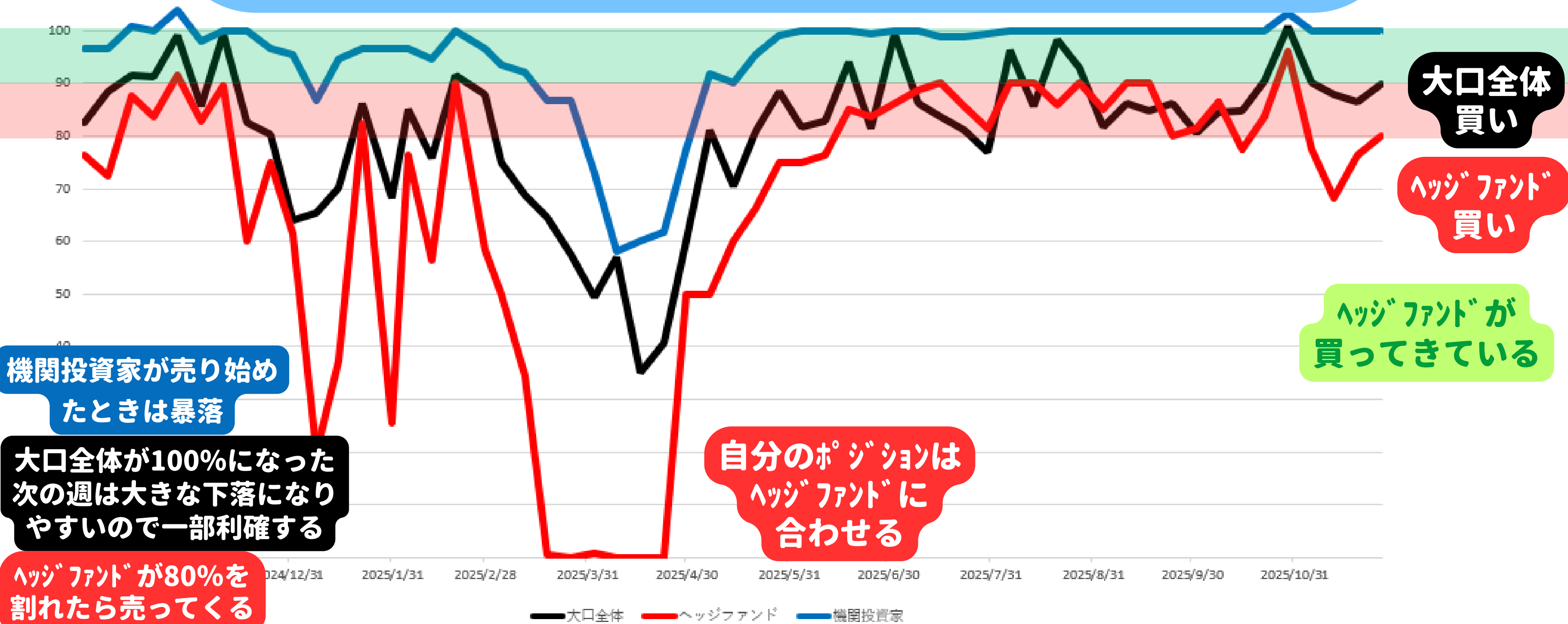
【RSI】
買い優勢へ

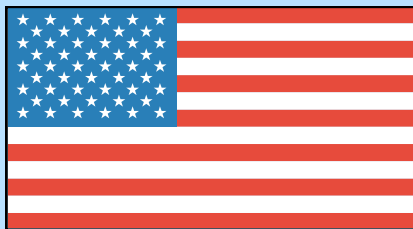
【MACD】
↗：強い
→：安定上昇
↘：弱い

【MACD】
横ばい？



大口投資家の株保有ポジション（金発表）





個人投資家のセンチメント（木発表）

個人投資家は、エヌビディアやアップル、テスラ、パランティアなどの人気銘柄を取引する

Week Ending

11/26/2025

11/19/2025

11/12/2025

11/5/2025

Historical View

Historical Averages

1-Year Bullish High:

1-Year Neutral High

1-Year Bearish High

Sentiment Votes

Bullish Neutral Bearish

32.0%

強気＝個人の株買い

25.3%

42.7%

弱気＝個人の株売り

32.6%

23.9%

43.6%

31.6%

19.2%

49.1%

38.0%

25.8%

36.3%

37.5%

31.5%

31.0%

48.3%

Week Ending 12/4/2024

強気が50%を越えたら最高値に近い
→売りを考えるとき

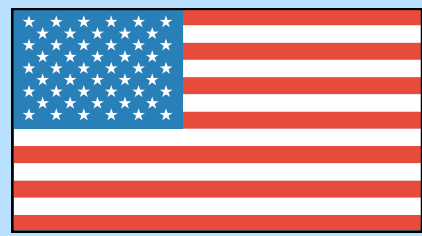
34.0%

Week Ending 1/15/2025

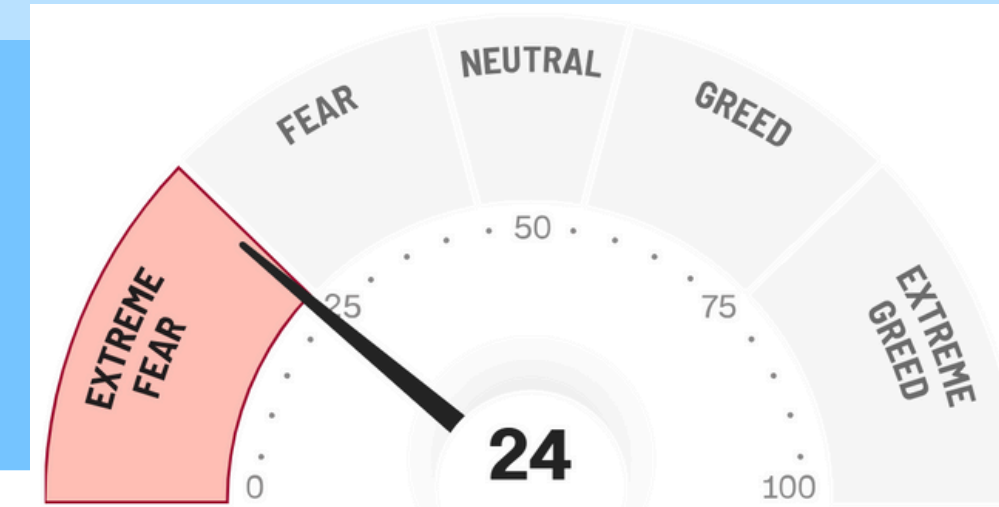
61.9%

Week Ending 4/2/2025

中立拡大、個人は売り優勢



Fear & Greed Index



EXTREME GREED : 株が非常に強い

Extreme Greed

GREED (55以上) : 株が強い、株は保有

NEUTRAL : 中立、方向感が無い

FEAR (45未満) : 株が弱い、株は売却

**EXTREME FEAR : 株が非常に弱い、買い場
買う場合は個別指標の反転を確認してから**

Extreme Fear

サイトを確認

**非常に
弱い**

Jan 2025

Apr

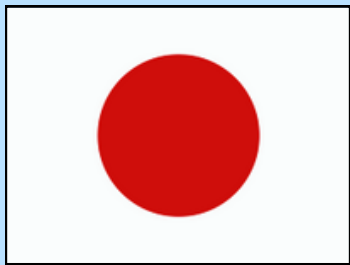
Jul

Oct

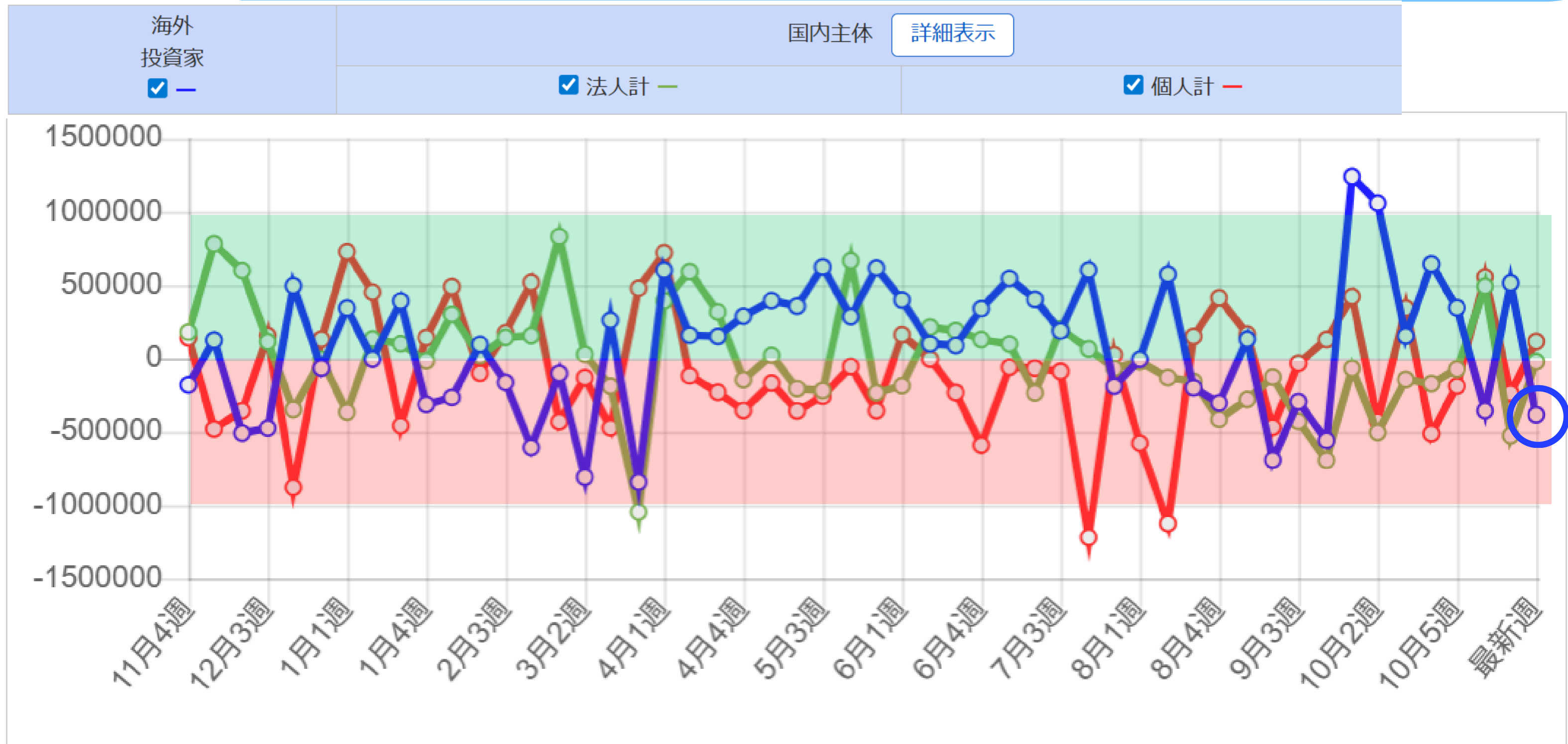
0

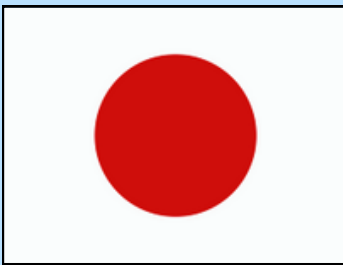
25

75



東証プライム 投資主体別売買推移（木発表）

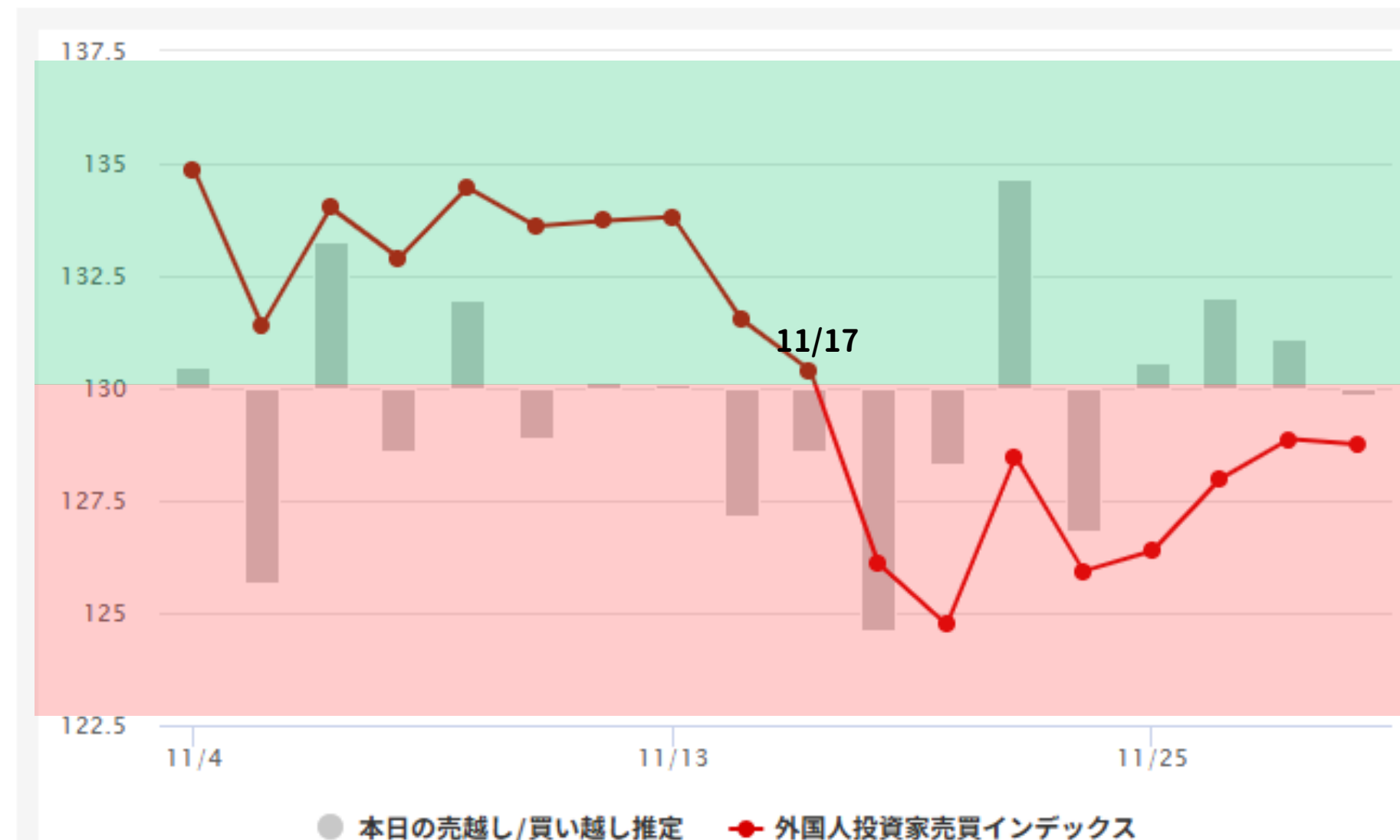




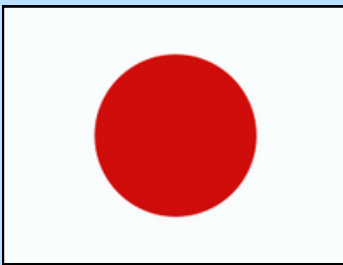
日経平均 投資主体別売買推移 (推定値)

海外投資家 現物売買推定

12/1 12:30 売り越し (-1.38)

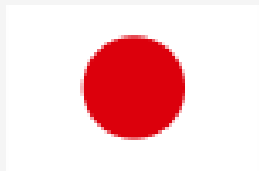


サイトを確認



日本の金融政策（日銀の動向）

日本



日銀金融政策決定会合

[1月23日～24日](#)

[3月18日～19日](#)

[4月30日～1日](#)

[6月16日～17日](#)

[7月30日～31日](#)

[9月18日～19日](#)

[10月29日～30日](#)

12月18日～19日

2025/12/02 09:41 長期金利、一時1.880%＝月内利上げ観測で上昇

2025/12/01 19:24 賃上げ確認で利上げ決断へ＝総裁が「予告」の見方―日銀12月会合

2025/12/01 14:59 利上げ遅れは「混乱招く」＝日銀総裁

2025/12/01 11:47 長期金利、一時1.875%に上昇＝17年半ぶり、早期利上げ超下落

2025/12/01 10:32 利上げ是非、12月会合で判断＝遅れれば「混乱」―日銀総裁

サイトを確認

12/19日銀

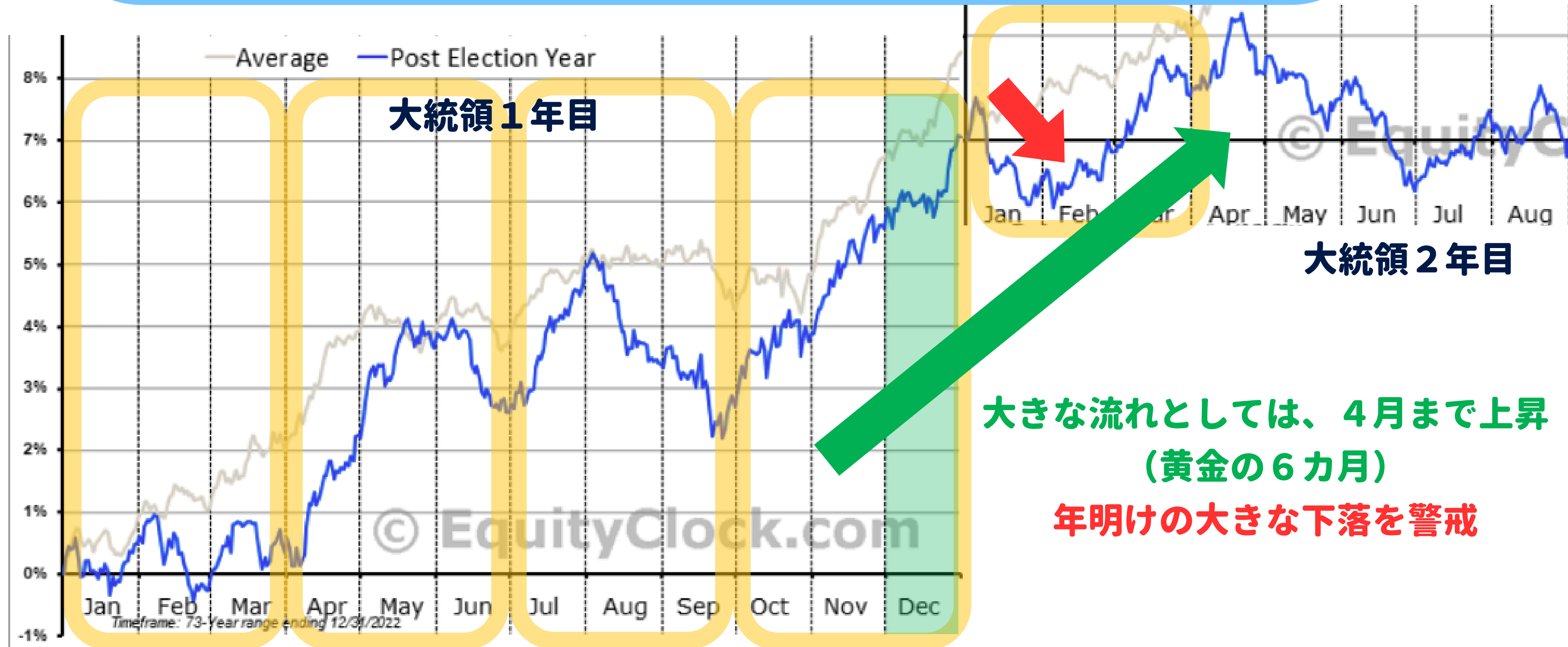
利上げ確率：57%へ上昇→株下落

3. 中期的な見通しと投資戦略

- 相場の季節性を考えます。
- 現状分析を踏まえて、今週の投資戦略を考えていきます。

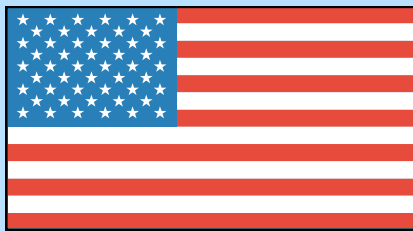


ダウの大統領 1 年目のシーズナリ

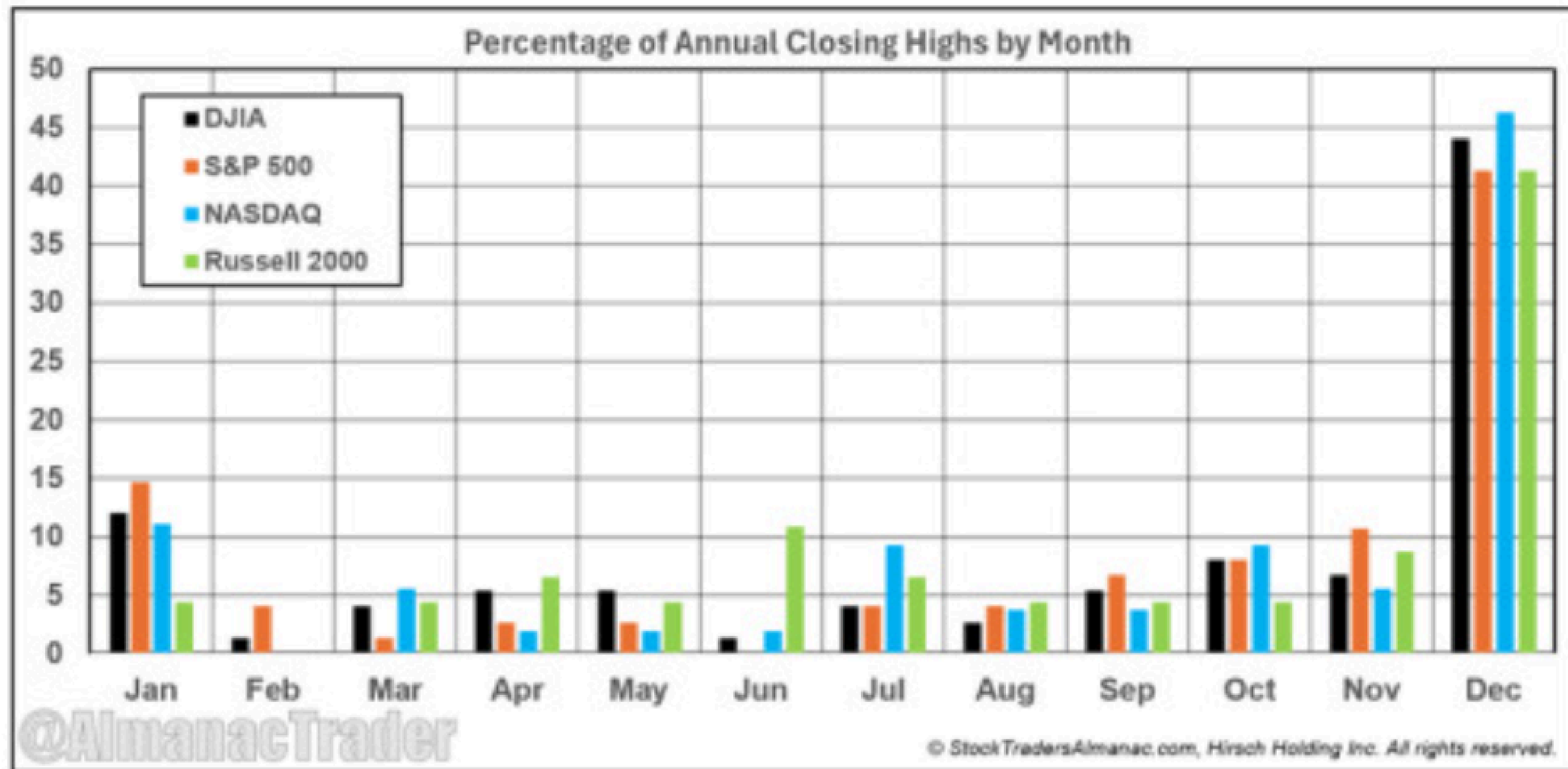


Dow Jones Industrial Average Post-Election Year Seasonal Chart

大きな流れとしては、4月まで上昇
(黄金の6カ月)
年明けの大きな下落を警戒



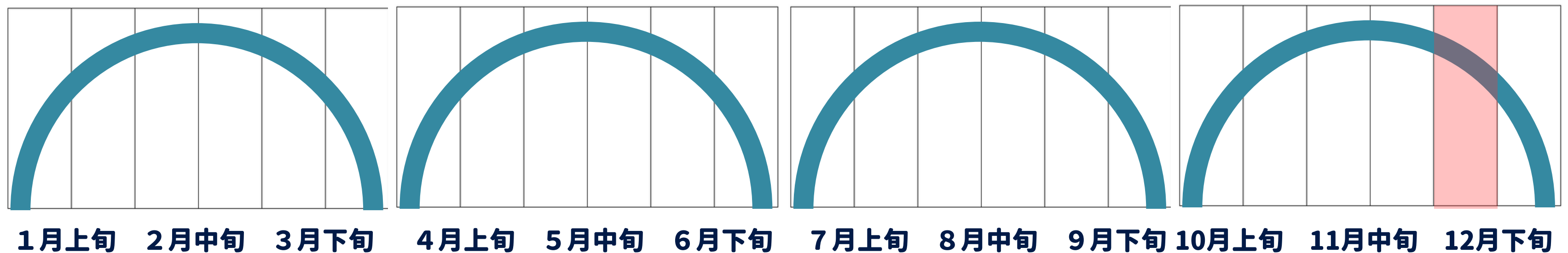
最高値の月：12月が最も多い



12月にピークを
つけることが多い
↓
基本は12月末売り

DJIA・S%P500：1950～、NASDAQ：1971～、Russell:1979～のデータ

ヘッジファンドの3ヵ月サイクル

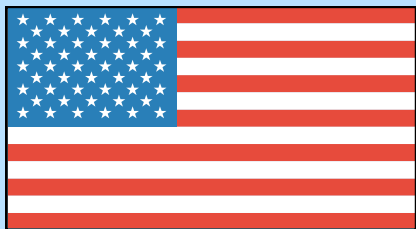


ヘッジファンドの契約の関係でこのようなリズムができやすい。

3月下旬・6月下旬・9月下旬の株が下がりやすい時期に買う

今は12月前半：ヘッジファンドの利益確定が出やすい時期

【安易に買ってはいけない時期・利益確定をしていく時期】



米国市場 今後の重要イベント

例

200万
50万売却
残り150万

50万売却
残り100万

December 12月

月	火	水	木	金
1	2	3 LIVE	4	5
サイバーマンデー	世界半導体見通し			PCE物価指数
8	9	10 LIVE FOMC	11	12
				ブロードコム (朝) (日本メディア-SQ)
15	16	17 LIVE	18	19
	雇用統計		マイクロン (朝) 消費者物価指数	(日銀) GDP、PCE物価 トリプルチェック
22	23	24	25	26
		クリスマスイブ 半休場	クリスマス 休場	
29	30	31		

January 1月

月	火	水	木	金
			1	2
			元日 休場	
5	6	7 LIVE	8	9
				雇用統計
12	13	14 LIVE	15	16
		JPM(前) 消費者物価指数	TSMC (前)	指数オプション満期日
19	20	21	22	23
キング牧師生誕 休場	NFLX (後)			(日銀)
26	27	28 LIVE	29	30
		FOMC ASML (前) MSFT、META、TSLA(後)	GDP速報値 AAPL、GOOGL AMZN、V (後)	PCE物価指数



LIVEレッスン
20 : 45-
21 : 30

イベント日程は間違っている場合もありますのでご注意ください

4. トピックス

























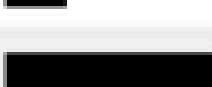






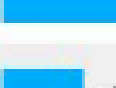

- 世界経済見通し
- 半導体見通し



世界経済見通し（OECD）12/2発表

- IMF（国際通貨基金）とOECD（経済協力開発機構）と世界銀行が発表。
- IMFの世界経済見通しが有名。
- 参考程度に知っておくことが必要。

OECDの成長率予測

	Forecast for 2025 GDP	Change vs prior	Forecast for 2026 GDP	Change vs prior	Forecast for 2027 GDP
World	 3.2%	0.0%	 2.9%	0.0%	 3.1%
US	 2.0	0.2	 1.7	0.2	 1.9
Euro area	 1.3	0.1	 1.2	0.2	 1.4
Germany	 0.3	0.0	 1.0	-0.1	 1.5
France	 0.8	0.2	 1.0	0.1	 1.0
Italy	 0.5	-0.1	 0.6	0.0	 0.7
UK	 1.4	0.0	 1.2	0.2	 1.3
Japan	 1.3	0.2	 0.9	0.4	 0.9
China	 5.0	0.1	 4.4	0.0	 4.3
India	 6.7	0.0	 6.2	0.0	 6.4
Brazil	 2.4	0.1	 1.7	0.0	 2.2

Source: Organization for Economic Cooperation and Development
Note: Estimates for 2027 are first projections for that year

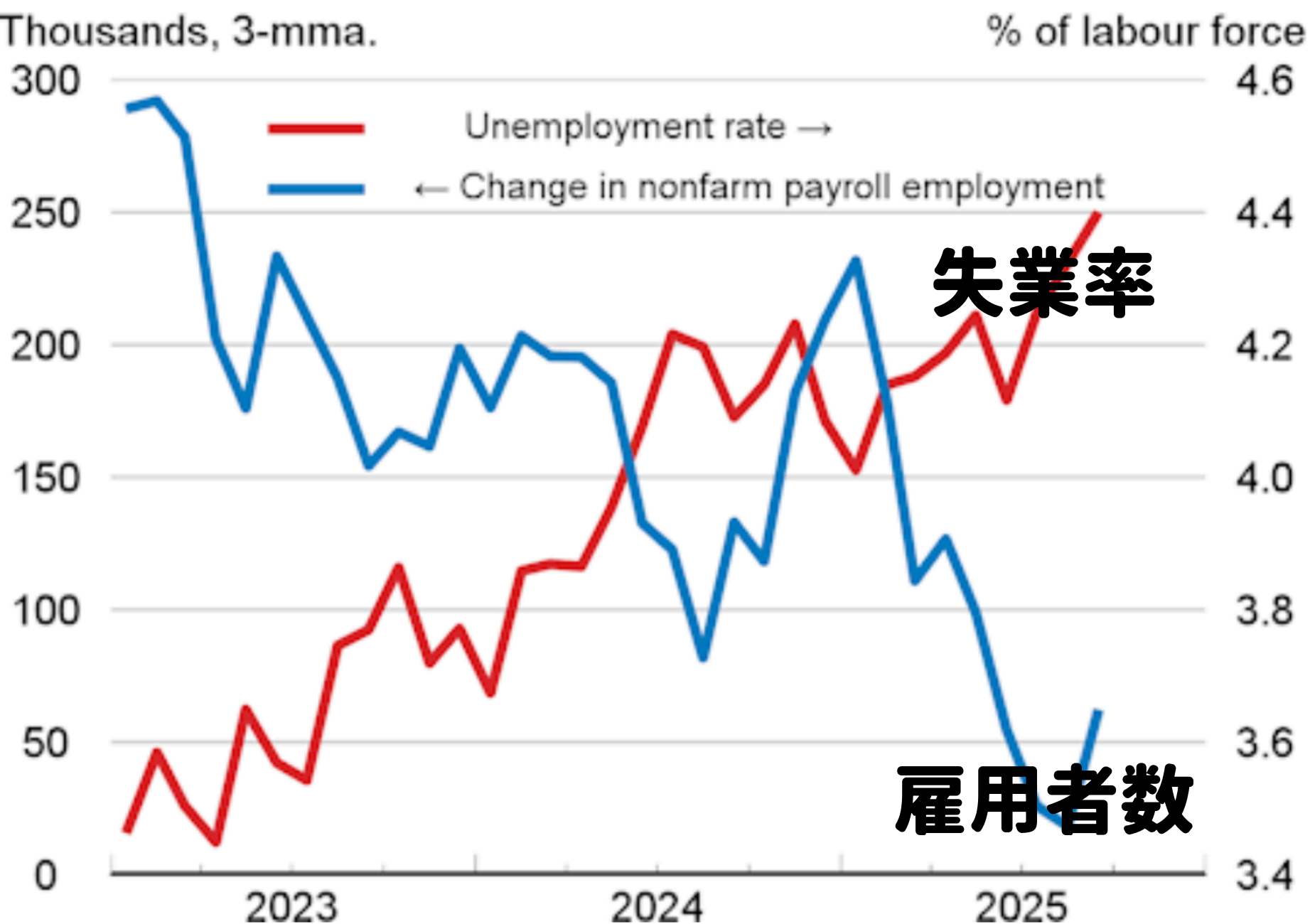
世界経済見通し アメリカ合衆国

- 実質GDP成長率は、2025年に2%、2026年に1.7%に減速し、2027年には1.9%に回復すると予測されています。
- この減速は、雇用の伸びの継続的な鈍化、純移民の急激な減少、関税引き上げの物価への転嫁、そして国防以外の裁量的支出の大幅な削減に起因しています。関税の影響が薄れ、デフインフレーションが再開し、連邦政府職員の削減が終了するにつれて、成長率は潜在成長率に向かって回復すると予測されています。この予測における主要な下振れリスクは、AIへの投資収益率の高さへの期待に支えられてきた株式市場の調整ですが、今後数年間はAIの新たな進歩が成長を押し上げる可能性も否定できません。

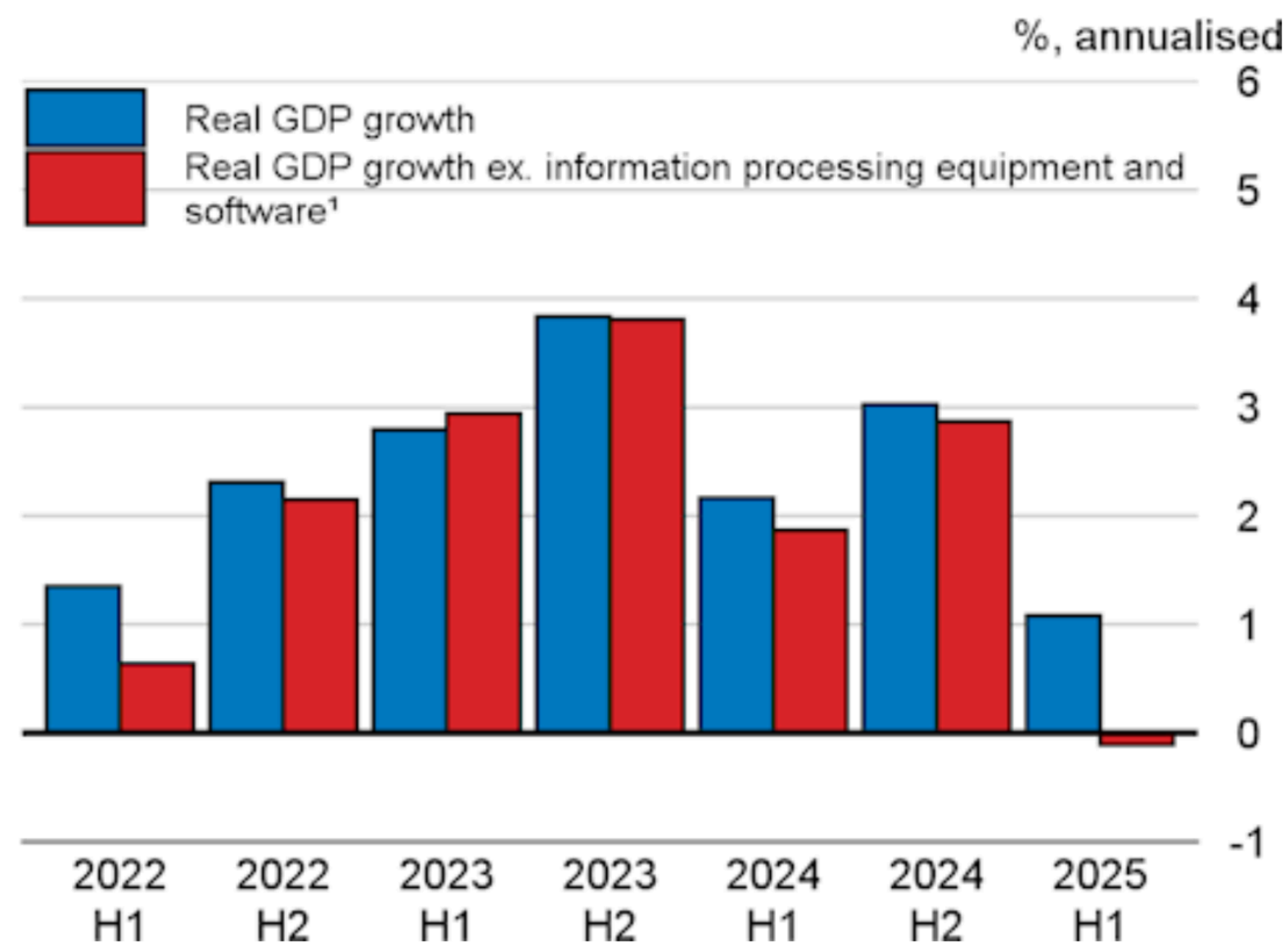
- 労働市場の下振れリスクが高まり、基調的なインフレ圧力が管理可能と見られることから、2026年には**更なる金融緩和策**を実施することが妥当と考えられる。財政政策は持続不可能な軌道に乗っており、巨額の構造的赤字と高水準かつ上昇傾向にある債務対GDP比を抱えている。今後数年にわたり、大幅な調整が必要となるだろう。規制・制度改革は、住宅供給とインフラの拡充、そして労働力不足への対応に重点を置くべきである。

アメリカ

Job growth has slowed to a crawl this year
but unemployment has only ticked up



GDP growth excluding AI-related investment
stepped down markedly in 2025 H1



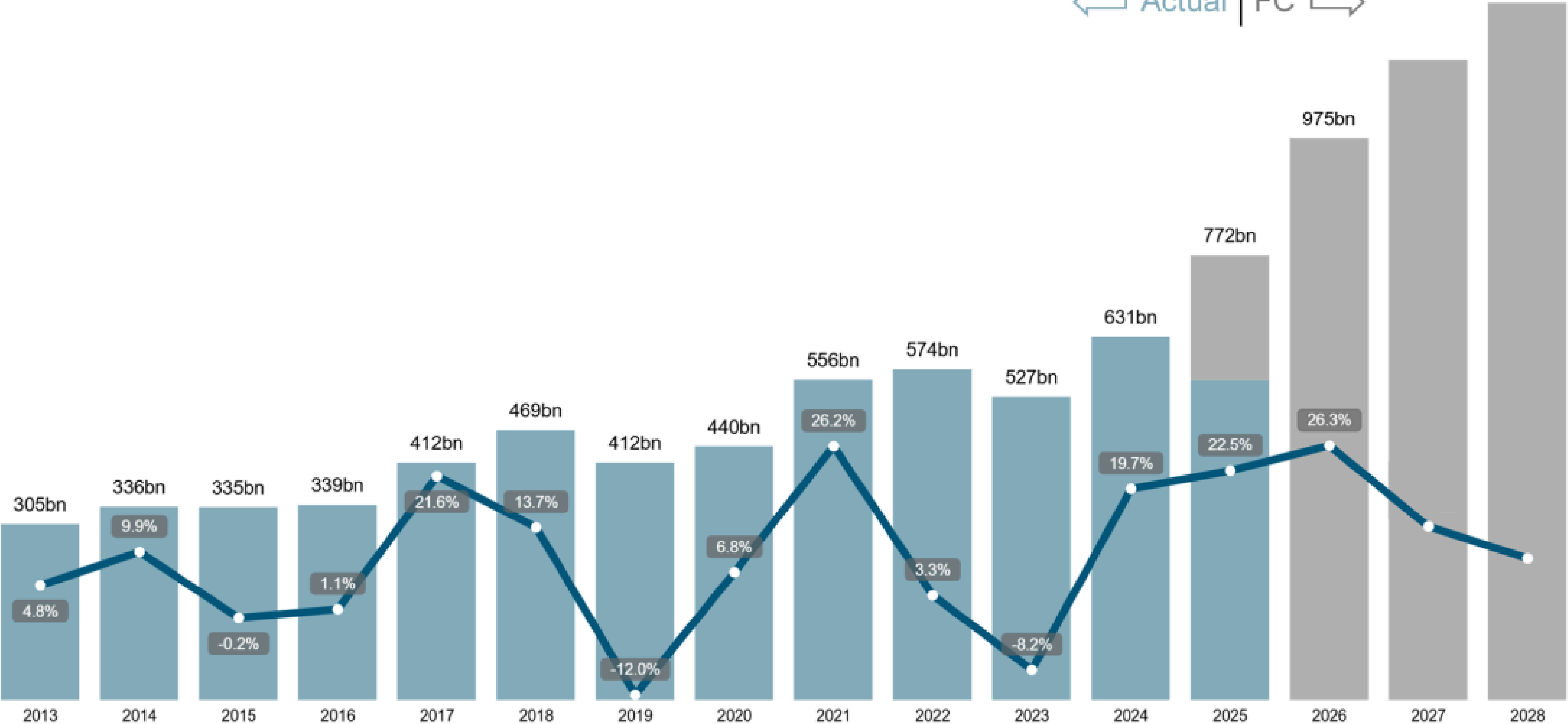
世界半導体見通し 12/2発表

- 世界半導体貿易統計（WSTS）は、2025年秋の予測を発表し、2025年の成長見通しを引き上げ、2026年まで世界の半導体市場が力強い勢いを維持することを確認しました**
- 2025年：ロジックとメモリが牽引する力強い成長、その他のセグメントは緩やかな回復**

Global semiconductor market (billion US\$)

Actual & Forecast in billion US\$, YoY growth in percent

← Actual | FC →



WSTS Forecast Summary

Autumn 2025	Amounts in US\$M			Year on Year Growth in %		
	2024	2025	2026	2024	2025	2026
Americas	195,123	251,926	338,574	45.2	29.1	34.4
Europe	51,250	54,127	60,429	-8.1	5.6	11.6
Japan	46,739	44,835	50,164	0.0	-4.1	11.9
Asia Pacific	337,437	421,354	526,293	16.4	24.9	24.9
Total World - \$M	630,549	772,243	975,460	19.7	22.5	26.3
Discrete Semiconductors	31,026	30,900	33,436	-12.7	-0.4	8.2
Optoelectronics	41,095	42,597	45,020	-4.8	3.7	5.7
Sensors	18,923	20,894	22,713	-4.1	10.4	8.7
Integrated Circuits 集積回路	539,505	677,852	874,291	25.9	25.6	29.0
Analog	79,588	85,552	91,988	-2.0	7.5	7.5
Micro	78,633	84,839	96,620	3.0	7.9	13.9
Logic	215,768	295,892	390,863	20.8	37.1	32.1
Memory	165,516	211,568	294,821	79.3	27.8	39.4
Total Products - \$M	630,549	772,243	975,460	19.7	22.5	26.3

ロジック
(21兆円)



【ファブレス】

BROADCOM
connecting everything
(通信インフラ：1.6兆円)

QUALCOMM
(スマホ・5Gインフラ：1.1兆円)

NVIDIA
(AIチップ：1.0兆円)

AMD
(PC・DC：7千億円)

(スマホ・PC)

Microsoft

(DC/HPC)

MEDIATEK

RENESAS

HISILICON
(スマホ・5Gインフラ：8千億円)

【ファウンドリ】

tsmc
(3.4兆円)

SAMSUNG
(1.4兆円)

GLOBAL FOUNDRIES (7千億円)

UMC
(6千億円)

SMIC
(4千億円)

ロジック

高度な計算・情報処理

IT用：数nm台

産業用：10~20nm台



自動運転



5G



データセンター

メモリ (18兆円)



(7.2兆円)

【DRAM】



(2.0兆円)



(1.6兆円)



【NAND】



(1.0兆円)



(5千億円)

売却予定



(5千億円)



(7千億円)



(6千億円)



メモリ

DRAM

情報の記憶



主記憶装置
(メインメモリ)



データセンター



NAND

SDカード

SSD



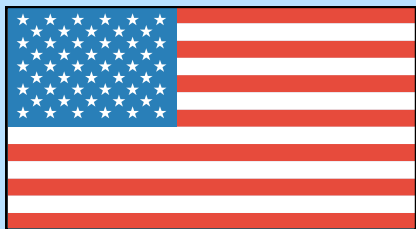
USB



Spring 2025	Amounts in US\$M			Year on Year Growth in %		
	2024	2025	2026	2024	2025	2026
Integrated Circuits	539,505	611,582	667,390	25.9	13.4	9.1
Analog	79,588	81,642	85,535	-2.0	2.6	4.8
Micro	78,633	77,840	80,186	3.0	-1.0	3.0
Logic	215,768	267,259	286,842	20.8	23.9	7.3
Memory	165,516	184,841	214,826	79.3	11.7	16.2
Total Products - \$M	630,549	700,874	760,700	19.7	11.2	8.5



Autumn 2025	Amounts in US\$M			Year on Year Growth in %		
	2024	2025	2026	2024	2025	2026
Integrated Circuits	539,505	677,852	874,291	25.9	25.6	29.0
Analog	79,588	85,552	91,988	-2.0	7.5	7.5
Micro	78,633	84,839	96,620	3.0	7.9	13.9
Logic	215,768	295,892	390,863	20.8	37.1	32.1
Memory	165,516	211,568	294,821	79.3	27.8	39.4
Total Products - \$M	630,549	772,243	975,460	19.7	22.5	26.3



米国市場 今後の重要イベント

例

200万
50万売却
残り150万

50万売却
残り100万

December 12月

月	火	水	木	金
1	2	3 LIVE	4	5
サイバーマンデー	世界半導体見通し			PCE物価指数
8	9	10 LIVE	11	12
		FOMC		ブロードコム (朝) (日本メディア-SQ)
15	16	17 LIVE	18	19
	雇用統計		マイクロン (朝) 消費者物価指数	(日銀) GDP、PCE物価 トリプルチェック
22	23	24	25	26
		クリスマスイブ 半休場	クリスマス 休場	
29	30	31		

January 1月

月	火	水	木	金
			1	2
			元日 休場	
5	6	7 LIVE	8	9
				雇用統計
12	13	14 LIVE	15	16
		JPM(前) 消費者物価指数	TSMC (前)	指数オプション満期日
19	20	21	22	23
キング牧師生誕 休場	NFLX (後)			(日銀)
26	27	28 LIVE	29	30
		FOMC ASML (前) MSFT、META、TSLA(後)	GDP速報値 AAPL、GOOGL AMZN、V (後)	PCE物価指数



LIVEレッスン
20 : 45-
21 : 30

イベント日程は間違っている場合もありますのでご注意ください